

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月23日

計画の名称	国際的なイベントに関連する都市公園の整備												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横浜市												
計画の目標	<p>平成27年6月に日本に返還された米軍施設の旧上瀬谷通信施設は、約242haと横浜のみならず首都圏でも貴重な広大な土地であり、その跡地利用については横浜市郊外部の新たな活性化拠点を目指しています。</p> <p>横浜市では、跡地利用に対して国の積極的な支援を得るため、国が開催する国際園芸博覧会の招致検討を進めています。旧上瀬谷通信施設を含む地域において、先導的・モデル的な公園を中核とした地域整備の手法や公園構想、公園整備を進める方策としての国際園芸博覧会の招致検討を進めます。また、本市の新横浜公園に立地する横浜国際総合競技場は、2002FIFAワールドカップ決勝の会場となり、国内外から訪れる大会関係者や観客などのために案内や清掃などを行い、大会運営を盛り上げました。今後もラグビーワールドカップ2019TMの「決勝戦」が開催されます。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピックにおいてもサッカー競技が開催されることから、来街者をおもてなしできる公園施設の整備を進める必要があります。</p> <p>これらの国際的なイベントに関連する都市公園の整備を推進し、地域まちづくりの核となるとともに多様なニーズにこたえる公園づくりを進めます。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,409	A	2,409	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	新横浜公園の利用者数を242万人から250万人に増加。 新横浜公園の利用者総数に基づく(指定管理者の事業報告書より)。	242万人	万人	250万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	横浜市	直接	横浜市	-	-	都市公園事業(新横浜公園)	園路・施設整備等 2.8ha	横浜市					2,400		策定中	
		「緑の保全及び公園緑地整備事業」より移行、令和2年度より「横浜市における安全・安心な都市公園づくり(防災・安全)【重点】」へ移行																	
	A12-002	公園	一般	横浜市	直接	横浜市	-	-	公園事業特定計画調査(旧上瀬谷通信施設)	都市公園等の整備計画調査	横浜市					9		-	
		「緑の保全及び公園緑地整備事業」より移行																	
												小計					2,409		
											合計					2,409			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を行いました。	令和2年度
	公表の方法 横浜市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和元年度にはラグビーワールドカップ2019TMが開催され、横浜国際総合競技場で行われた試合は、毎回6万人を超える入場者数となった。特に「決勝戦」は7万人を超える過去最高の入場者数を記録した。さらに、同競技場は令和3年度の東京2020オリンピック・パラリンピックにおいてもサッカー競技が開催されるなど、来街者をおもてなしできる公園施設の整備を行うことができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	都市公園等の整備計画調査等により、米軍から返還された旧上瀬谷通信施設において、令和元年9月に2027年国際園芸博覧会の開催申請が承認に結び付けることができた。 横浜国際総合競技場の整備により照明のLED化による節電やトイレの改修による節水を実現した。

特記事項（今後の方針等）

ラグビーワールドカップ2019TMの「決勝戦」が開催されたとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックにおいてもサッカー競技の開催が予定されているため、当該大会を契機とした来街者をおもてなしできる公園づくりを進めます。
--

